

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略

実施状況報告書

(平成 29 年度)

平成 30 年 8 月

川 西 市

目次

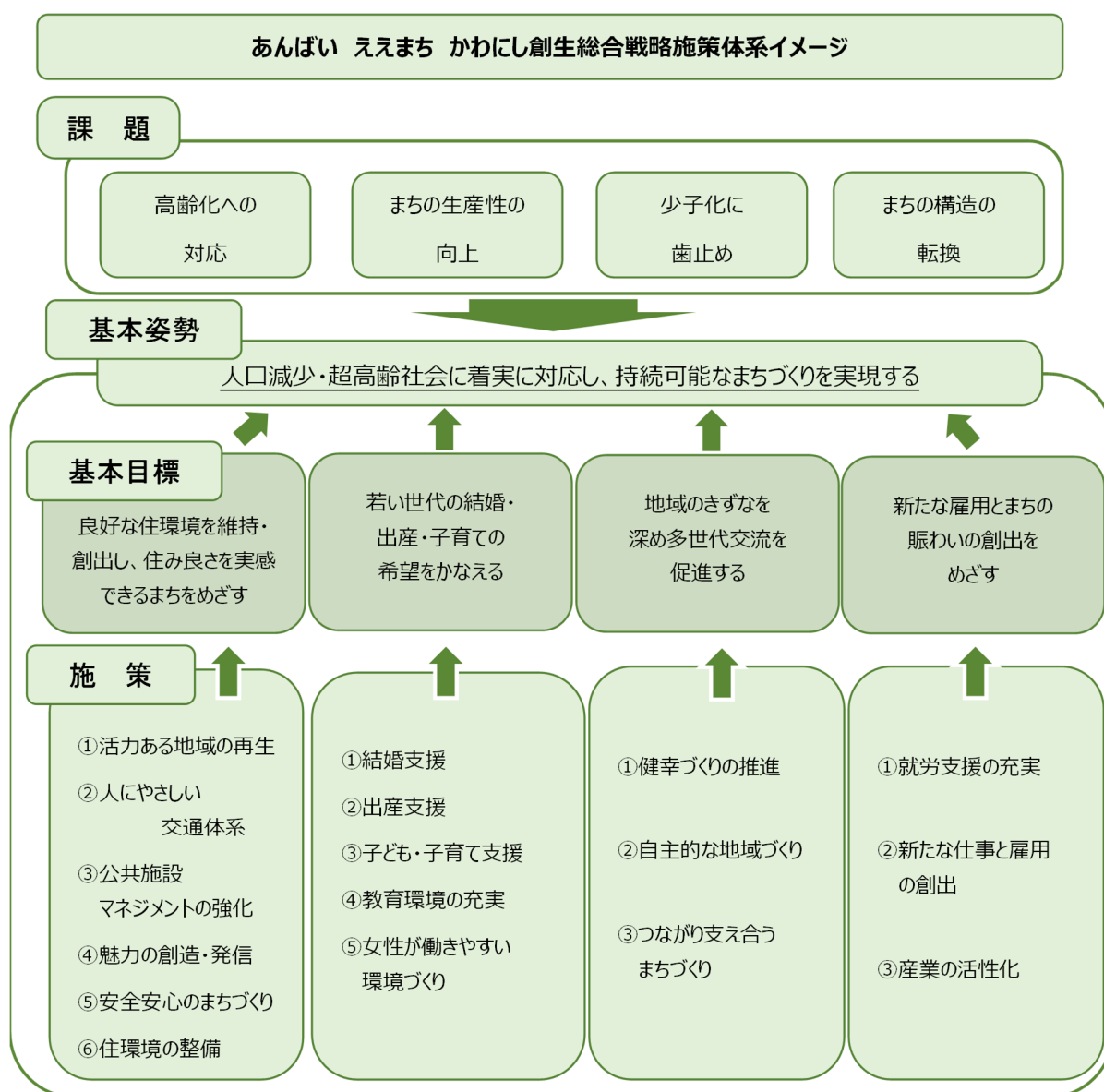
はじめに	1
1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について	1
2 総合戦略の効果検証について	2
(1) 実施状況報告書作成の趣旨	2
(2) 効果検証の方法	2
具体的施策の実施状況	5
1 基本目標1 良好な住環境を維持創出し、住み良さを実感できるまちをめざす	6
活力ある地域の再生	7
人にやさしい交通体系	8
公共施設マネジメントの強化	9
魅力の創造・発信	10
安全安心のまちづくり	12
住環境の整備	14
2 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	16
結婚支援	17
出産支援	18
子ども・子育て支援	19
教育環境の充実	21
女性が働きやすい環境づくり	23
3 基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する	24
健幸づくりの推進	25
自主的な地域づくり	26
つながり支え合うまちづくり	27
4 新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす	28
就労支援の充実	29
新たな仕事と雇用の創出	30
産業の活性化	32

はじめに

1 「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」について

国では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、日本全体、特に地方の人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みやすい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが、喫緊の課題であるとして、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的に、「まち・ひと・しごと創生法」を制定、施行しました。

本市では、国の地方創生の動きに呼应し、平成28年3月に、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)を策定し、人口の転入・定住の促進、人口減少の抑制、まちの活性化における安定した地域づくり、安定した雇用の創出といった観点から、それぞれに対応する4つの基本目標を立て、その具体的な施策を展開しているところです。



2 総合戦略の効果検証について

(1) 実施状況報告書作成の趣旨

総合戦略に掲げた施策の着実な推進を図るためには、それぞれの施策の進捗状況について、成果や課題を分析し、必要な改善や見直しを図る必要があります（PDCAサイクルの構築）。

そこで、平成29年度の実績に係る進捗状況を明らかにするとともに、取り組みに対する効果検証を行った結果を取りまとめ、幅広く市民の皆さんと情報共有するため、実施状況報告書を作成しました。

(2) 効果検証の方法

総合戦略では、施策の達成度を可視化することを目的として、基本目標単位で数値目標及び幸せ実感指標を、各施策単位でKPI（重要業績評価指標）を設定しています。目標値に対する平成27年度から平成29年度における実績値を明記することで、達成状況を確認できるものとしています。

また、個々の施策単位で平成29年度の実績と成果及び課題と今後の方向性を明示し、指標の達成状況を含め、産官学金労言の有識者で構成するあんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議の総合的かつ客観的な見地からの意見を聴取し、効果検証を行うとともに、施策を進めるうえでの課題などについてのコメントを求めています。

凡 例

基本目標に掲げる内容のめざすべき方向性を記載しています。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

< 基本的方向性 >
 恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。

あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

> 公共施設マネジメントの強化に向けては、効率的な運営だけを重視した統廃合を進めるのではなく、地域の将来像などを踏まえて進める必要がある。
 > 推進会議における委員のコメントを箇条書きで記載。
 > 「地震や火災などの災害に対する備えができていない市民の割合」が基準値以下であり、この要因分析をしっかりと行う必要がある。また、安全基準について情報提供するなど、市民の災害に対する意識啓発にさらに取り組んでいく必要がある。

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
数値目標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	76.3%	77.0%	73.6%	74.6%	72.2%
	社会移動数転入・転出の均衡	48人 (H25)	均衡状態	120人	53人	219
幸せ実感指標	「住み良いまちだ」と思う市民の割合	85.2% (H27)	86.2%	85.2%	83.4%	80.7%

平成 29 年度の取組みと成果及び課題と今後の方向性、さらに指標の達成状況を踏まえた、総合戦略推進会議による効果検証のもと、施策を進めるうえでの課題などについてのコメントを記載しています。

実績値は、平成30年4月末時点で把握できている数値を記載しています。
 数値が未把握の場合は、「-」としています。

基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しています。

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施策 3 公共施設マネジメントの強化
 <具体的施策の展開>
 ・公共施設の現状及び将来見通しを把握した上で、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、公共施設の最適な配置をめざし、良好な住環境の整備を推進します。

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

上記<具体的施策の展開>にある記述の内、H29年度に取り組んだ内容を箇条書きで記載。「川西市公共施設等総合管理計画[個別施設計画編]」を策定

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
公共施設の延床面積		358,356㎡ (H27)	356,000㎡	358,356㎡	358,153㎡	355,966㎡

【今後の課題及び方向性】

【平成29年度の主な取組内容及び成果】の内容を受け、施策の今後の課題・方向性を総括として記載。総合管理計画を踏まえた学校施設の詳細な取組方針等の決定。学校施設の詳細な取組方針と今後のスケジュール等を示す「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定

具体的施策の展開にあたって、今後求められる課題と方向性を記載しています。

実績値は、平成30年4月末時点で把握できている数値を記載しています。数値が未把握の場合は、「-」としています。

具体的施策の展開に向けて、平成29年度に取り組んだ内容及び成果を記載しています。

具体的施策の実施状況

総合戦略に基づく、4つの基本目標における個々の施策単位での取組みと成果及び課題と今後の方向性をとりまとめ、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議のコメントを添えて、総合戦略の平成29年度の実施状況として、次頁以降のとおり報告します。

基本目標1	良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす
-------	--------------------------------

＜基本的方向性＞

恵まれた都市環境と自然環境を内外にアピールし、市外からの転入の呼び込み、市内在住者の定住の促進（流出抑制）を図ります。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公共施設マネジメントの強化に向けては、効率的な運営だけを重視した統廃合を進めるのではなく、地域の将来像などを踏まえて進める必要がある。 ➤ 市内外に対して、川西市の魅力をさらに効果的に発信していくべきである。また、誰に向けてのPRなのかを絞り、より具体的に発信することで、転入、定住促進につながると思う。 ➤ 「地震や火災などの災害に対する備えができている市民の割合」が基準値以下であり、この要因分析をしっかりと行う必要がある。また、安全基準について情報提供するなど、市民の災害に対する意識啓発にさらに取り組んでいく必要がある。
------	--

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
数値目標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	76.3%	77.0%	73.6%	74.6%	72.2%
	社会移動数転入・転出の均衡	48人 (H25)	均衡状態	△120人	△53人	△219
幸せ実感指標	「住み良いまちだ」と思う市民の割合	85.2% (H27)	86.2%	85.2%	83.4%	80.7%

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施 策 1	活力ある地域の再生
	<p><具体的施策の展開></p> <p>①団地再生に向けた地域の取組みを支援するため、「ふるさと団地再生の手引き」等を活用し、住民・地域団体・事業者・行政が連携できるようなネットワークの構築を支援します。</p> <p>②現制度を含めたより効果的な制度・手法を検討し、子育て世帯等の人口流出抑制・流入促進を図ります。</p>

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○H28年度には団地再生の手引きを作成し、H29年度は関係所管の協力のもとでイベント等にタイアップし、一部地域にとどまらない広域的な魅力発信を推進

○住宅の流動化などを目的とした「川西市空き家等対策計画」を策定し、計画の中で、空き家の流通方策等の方針を整理

<具体的施策の展開②>

○転入・定住促進を図るため、H25年度から実施している親元近居助成制度を継続実施(助成件数:89件(内訳:市内34件、市外55件))

○子育て世帯を中心とした転入・定住を誘導する住宅施策として、「空き家活用リフォーム助成制度」を検討

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
生産年齢人口比率	→	58.5%	57.1% (H32)	57.3%	57.1%	56.9%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○団地再生に向けた地域の主体的かつ持続可能な取組みの実施
 →団地再生に取り組む地域への行政支援のあり方についての検討

○空き家の流通促進に向けた具体的な仕組みの構築
 →空き家の流通促進を目的に、宅建協会やNPO法人と連携協定を締結し、支援体制を確立

<具体的施策の展開②>

○若年世帯及び子育て世帯の転入・定住促進に係る住宅施策の構築
 →親元近居助成制度において、これから子育てをむかえる若年夫婦のみの世帯を対象に追加
 →市外より転入する若年・子育て世帯が、市内の空き家をリフォームする費用の一部を助成する「空き家活用リフォーム助成制度」を実施

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>人にやさしい交通体系</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①高齢者や子育て世帯などが気軽に移動できるよう、基幹公共交通の充実のほか、地域内公共交通の確立、高齢者への公共交通利用促進支援などに取り組みます。</p> <p>②移動手段としても有効で、かつ健康増進にもつながる自転車の利活用を促進する取組みを推進します。</p>
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○環境に配慮した交通行動の推進を目的として、市内小学校及び高等学校でMM教育を実施(小学校13校、高等学校1校、延べ21回開催)

○猪名川町、豊能町と合同で公共交通利用促進ポスターの作成、掲出(能勢電鉄、阪急バス、川西阪急百貨店、公共施設等)

○地域内公共交通実施計画策定に向けた検討のため、コミュニティにおいて協議会を開催(2コミュニティ)

<具体的施策の展開②>

○川西市自転車ネットワーク計画を策定

○阪神北県民局管内の自治体連携によるサイクルマップの作成及びサイクルイベントの開催を支援

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合	↑	52.0%	56.0%	59.3%	52.4%	53.5%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○公共交通によるまちづくりの推進に向けた市民等への交通まちづくり学習の充実

➡市内小学校でのMM教育の継続的实施

○地域内公共交通の確立に向けた各地域における実施計画策定に係る取組みの深化

➡地域の実施計画策定に向けた検討等の各地域への働きかけの実施

○指標目標達成に向けた取組みの実施

➡川西市公共交通基本計画の見直しの検討

<具体的施策の展開②>

○自転車通行における安全性・快適性の確保に向けた取組み

➡川西市自転車ネットワーク計画に基づく計画的な自転車ネットワーク路線の整備

○自転車を活用した観光まちづくりの具体的な取組みの展開

➡阪神北県民局及び近隣自治体、民間事業者との連携を図りながら、サイクルマップを活用したイベントの開催支援やレンタサイクルの実施に向けた検討

基本目標1 良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>公共施設マネジメントの強化</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の現状及び将来見通しを把握した上で、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを行うことにより、公共施設の最適な配置をめざし、良好な住環境の整備を推進します。
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

○「川西市公共施設等総合管理計画[個別施設計画編]」を策定

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
公共施設の延床面積	↓	358,356㎡ (H27)	356,000㎡	358,356㎡	358,153㎡	355,966㎡

【今後の課題及び方向性】

○総合管理計画を踏まえた学校施設の詳細な取組方針等の決定
 →学校施設の詳細な取組方針と今後のスケジュール等を示す「(仮称)川西市学校施設長寿命化計画」の策定

具体的な施策の取組状況

施 策 4	<p>魅力の創造・発信</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①加茂遺跡、清和源氏の発祥の地、日本一の里山など様々な地域資源・観光資源を活用し、交流人口の増加を図ります。</p> <p>②あんばい ええまち かわにしプロジェクトの推進によるシティプロモーション(市の魅力を積極的に発信する取組)を展開し、本市の魅力の認知度の向上を図ります。</p> <p>③新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな市の魅力の創造・発信への展開を図ります。</p>
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

- 清和源氏発祥の地川西をPRするため、源氏まつりを開催(観客数:約32,000人)
- 北摂観光キャンペーンやきらっと☆阪神北オータムフェスタなど、各種イベントにおいて観光や特産品のPR活動を実施
- 黒川観光まちづくりについて、黒川地区等の観光マップ「秋里」(発行部数:25,000部)、「春里」(発行部数:26,000部)を発行したほか、大学と地域が連携した取組みを展開
- 新名神高速道路開通等に伴い、「カワニシティおでかけマップ」(発行部数:50,000部)を発行
- 黒川地区の古民家の有効活用や(仮称)里山センター整備に向けた検討
- 黒川観光まちづくり推進のための推進主体設立の検討
- 郷土館(旧平賀家住宅)リニューアル、駐車場整備工事の実施
- 「のせでんアートライン2017 里山の学校芸術祭」の開催
(開催期間:夏のワークショップ7月22日～8月27日の土日、収穫祭10月28日～11月5日、来場者数:約5,000人)
- 「川西まちなか美術館」の開催支援(観覧者数:約18,000人)

＜具体的施策の展開②＞

- 住宅・結婚・観光関連サイトなどを活用したPRを実施(PRバナークリック数:12,444回)
- 市民参加型フェイスブックによる情報発信を行うとともに、利用者を対象に交流会を開催(フォロワー数:約1,000人)
- 観光デジタルガイドブック「かわにしさんぽ」の発行(発行回数:1回)
- 市公式インスタグラム「かわにしさんぽ」の開設(フォロワー数:約1,300人、投稿数:79件)
- FM放送を活用したPRの実施(FMCoCoLo20分番組:17回、FM802:60秒CM32本、コメント数:2,343通)

＜具体的施策の展開③＞

- 魅力発信拠点の整備に向け、土地所有者や民間事業者と調整

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
観光客入込数	↑	2,092千人	2,315千人	2,203千人	2,249千人	2,435千人
市公式シティプロモーションサイトへのアクセス件数	↑	20,208件	142,700件	147,538件	135,413件	128,084件

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

○様々な地域資源、観光資源を活用した観光まちづくりの具体的推進

- ➡黒川地区における黒川ダリヤ園の整備実施や観光プロモーションの展開、里山センターの整備に向けた準備
- ➡郷土館でのカフェや各イベント実施の検討

○まちの賑わいの創出に向けたイベント等への支援の充実

- ➡のせでんアートラインやまちなか美術館などのイベントとの連動による効果的なシティプロモーションの展開
- ➡定着しつつある「川西まちなか美術館」のイベント開催に加え、新たなアートイベントの開催を支援することにより、まちなかへの回遊を通じてまちの魅力を発信

＜具体的施策の展開②＞

○本市の魅力の認知度の向上に加え、交流・定住人口の増加につなげる地域・イベント誘導型のシティプロモーションの展開

- ➡HPやSNSなどのチャンネルを用い、日本一の里山「黒川」をはじめとする観光資源等をPRするシティプロモーションの展開

＜具体的施策の展開③＞

○まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整

- ➡所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

具体的な施策の取組状況

<p>施 策 5</p>	<p>安全安心のまちづくり</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①高齢者、障がい者、要介護者など、全ての市民が安全で安心に暮らせるまちづくりを推進します。</p> <p>②防災行政無線及び防災機能を備えた公園施設等の整備、耐震改修への助成、消防力の強化などを通じて、災害に強いまちづくりを推進します。</p> <p>③防犯カメラの設置により防犯力の強化を図るなど、生活安全の充実を推進します。</p> <p>④防災・防犯の啓発を積極的に展開するとともに、地域における防災・防犯への取組みを支援し、安全・安心のまちづくりを推進します。</p>
--------------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

○ケアマネジャー等専門職の相談施設である在宅医療・介護連携支援センターを開設

○各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1名ずつ配置

○福祉避難所運営マニュアル(指針)の作成に向けた検討

＜具体的施策の展開②＞

○防災行政無線の的確な運用と併せて国との連携放送や、地域の防災訓練における利用も行うとともに、イベントや出前講座等で防災マップを使った啓発を行い、防災行政無線や情報伝達手段について周知

○住宅の耐震化の促進に向け、耐震改修促進補助制度の明瞭化及び事業の推進啓発の実施(耐震市民フォーラム、出前講座の実施)

○防災機能を備えた公園施設の整備を実施(3公園)

○増大している救急需要に対し、5隊の救急隊での対応を実施(平成29年中救急件数:8,353件、前年比576件増)

＜具体的施策の展開③＞

○子どもの安全確保及び犯罪の未然防止を目的として、各小学校区の通学路等に設置した防犯カメラの運用(設置台数:各小学校区10台ずつ、合計160台)

○設置効果の検証のため、各小学校区のコミュニティ役員等にアンケートを実施(地域に防犯カメラが設置されたことにより、「安心感がある」と回答:約50%、「どちらかといえば安心感がある」と回答:約92%)

＜具体的施策の展開④＞

○出前講座やイベント、地域の防災訓練などで浸水害や土砂災害の注意すべき地域や避難所の場所、災害に関する知識、備蓄や家具の固定などの備えについて啓発を実施(講師派遣等回数:62回)

○各地域における生活安全上の課題について協議する場として、生活安全推進連絡協議会を開催し、地域や関係団体と行政の連携体制の強化

○防犯カメラ設置事業補助金の交付などにより、地域の安全確保に向けた取組みの支援を実施(補助金交付件数:1件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができている」と思う市民の割合	↑	28.5% (H29)	33.1%	-	-	28.5%
「災害に強いまちだ」と思う市民の割合	↑	25.3%	30.2%	25.6%	22.6%	29.0%
地震や火災などの災害に対する備えができている市民の割合	↑	34.0%	38.4%	32.1%	29.8%	29.4%
人口一人あたりの犯罪発生率	↓	0.89%	0.79%	0.82%	0.87%	0.81%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○高齢者が安心して住み慣れた街に暮らせるよう、在宅医療・介護連携支援センターの利用促進を展開
 ➡利用対象であるケアマネジャー等専門職に対して、研修会等で在宅医療・介護連携支援センターの活用と連携について周知

○福祉避難所運営マニュアル(指針)の作成

➡連絡会を開催し、福祉避難所運営マニュアルの作成を支援

○全地域において災害時に備えた避難行動要支援者の個別支援計画の作成

➡地域の支援者との一体的な個別支援計画の作成

<具体的施策の展開②>

○災害に強いまちづくりの推進に向けた体制の強化

➡災害時に適切な避難行動を行えるよう、防災行政無線の情報をケーブルテレビ網を通じて発信し、聞き取り環境の改善や情報伝達手段の多重化などを推進

➡防災機能を備えた公園の整備の促進

➡耐震改修促進事業の推進啓発及び市民への意識啓発の継続的实施

➡交通網や住環境の変化を考慮し、消防環境の充実に向けての検討を継続

➡消防力強化のため、近隣消防本部との連携・協力について検討

<具体的施策の展開③>

○防犯カメラの適切な管理運用

➡「防犯カメラ設置及び管理運用に関する要綱」に基づく適切な管理運用

<具体的施策の展開④>

○地域における防災・防犯に対する意識の高揚及び取組みの充実

➡出前講座や防災訓練等、自主防災組織の活性化への支援

➡大規模災害時における避難所の運営について、地域と一緒に避難所ごとのマニュアルを作成

➡生活安全推進連絡協議会における情報交換や防犯カメラ設置事業補助金交付の継続

➡地域の自主的な防犯活動に対する支援の継続により、「地域の安全は地域で守る」という意識の醸成

具体的な施策の取組状況

施 策 6	<p>住環境の整備</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <p>①道路、交通安全施設、公園、上下水道の環境整備など、安全安心で、かつ良好な住環境に向けた取組みを推進します。</p> <p>②ごみの減量化や資源化の推進を図るなど、環境の保全や快適な生活空間の創出への取組みを推進します。</p> <p>③低炭素のまちづくりを推進し、良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造に取り組みます。</p>
-------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

＜具体的施策の展開①＞

- 橋りょうの長寿命化に沿った修繕工事の実施（1橋）
- 橋りょうの長寿命化計画の基礎となる道路橋定期点検を実施（6橋）
- 道路橋定期点検の結果に基づく長寿命化計画の見直しを実施
- 歩行者等の安全性の向上を図るため、歩道の段差を無くす歩道切下げ工事等を実施（6箇所）
- 交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上を図るため、都市計画道路の整備を促進（L=840m）
- 新規に設置する街路灯に関してLEDの設置を実施（84基）
- 公園において遊具やフェンスの改良・更新、手すりの新設を実施（24公園）
- 快適で衛生的な生活環境を図るために、下水道の管渠整備を実施（4地区 L=378m）
- 雨水浸水防除及び公共用水域の水質保全のため、管渠整備や雨水ポンプ場の安定的な運転管理を維持するためにエンジン等の設備の更新を実施
- 家庭向けに雨水貯留タンクの設置助成を実施（助成件数：45件）
- 鉛給水管改良工事を計画的に実施（1,090件）
- 地震等の災害に備えるため、配水池の耐震調査を実施するとともに、基幹管路及び基幹施設の耐震化工事を実施（調査 4池と3施設 工事 管路L=約625m、施設1池）

<具体的施策の展開②>

- ごみ減量化にかかる啓発を図るため、
 - ・出前講座や学習会の開催(開催回数:25回 参加者数:2,001人)
 - ・啓発パネル展示会を開催(開催期間:30日間)
 - ・啓発紙の発行(年2回発行)

<具体的施策の展開③>

○キセラ川西せせらぎ公園での自然学習、エネルギー、防災面の取り組みを市民に紹介するガイド(公園探検ツアー)を実施(2回)

○キセラ川西地区内において、「低炭素まちづくり計画」に基づく建築物の低炭素化への誘導について、自主的かつ意欲的な取り組みを行った事業者に対する評価と表彰(2件)

○キセラ川西地区内において、低炭素化の達成状況について、実績を評価するため、エネルギーモニタリングを実施し、誘導により一次エネルギー消費量の削減率は、まち全体で1.6%の削減を達成

○良好な住環境の創出によるまちの魅力の創造の取り組みとして、市内において里山整備や身近な自然環境の保全活動をしている団体によるシンポジウムを開催し、日ごろの活動内容や活動における課題などを参加者と共有した。(参加団体:17団体、参加者数:255人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合	↑	58.2%	62.1%	57.9%	59.1%	57.9%
公園を満足して利用している市民の割合	↑	10.9%	16.1%	14.3%	13.1%	12.3%
環境に配慮した行動を心がけている市民の割合	↑	86.2% (H29)	89.0%	-	-	89.0%
ごみ収集・処分に対する満足度	↑	68.2% (H29)	79.7%	-	-	68.2%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○安全安心、かつ良好な住環境に向けた計画的・継続的な取り組みの実施

- ➡橋りょう長寿命化に沿った修繕工事(設計)の実施
- ➡計画的な歩道切下げ工事の実施
- ➡長寿命化計画に基づく公園遊具の改良・更新の継続的实施
- ➡水道事業による安心安全な水の供給、下水道事業による公衆衛生の向上及び効率的な施設管理を行い、持続可能な事業運営を推進

<具体的施策の展開②>

○ごみ減量化や環境保全に関する意識のさらなる醸成

- ➡啓発事業や市民、団体等の活動状況など広く市民への周知に向けた広報活動の展開

<具体的施策の展開③>

○キセラ川西地区内における、低炭素のまちづくりの啓発活動

- ➡市民及び事業者の協力を得るため、低炭素化への取り組みを広く周知

○自然環境との調和による良好な住環境の維持・創出

- ➡引き続きシンポジウムを開催するなど、自然活動団体の支援を実施

基本目標2	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
-------	------------------------

＜基本的方向性＞

出会いから結婚・出産・子育てまで切れ目のないきめ細やかな支援を行うことで、自然動態における人口減少に歯止めをかけることをめざします。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今後、待機児童はさらなる需要を生み出すことが考えられることから、長期的な展望が必要である。 ➤ 教育環境は子育てと密接に関係することから、ニーズに対応した施策を展開する必要がある。
------	---

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	
数値目標	「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合	↑	51.5%	58.0%	52.6%	49.6%	52.6%
	市内出生数（住民基本台帳登録者数）	→	1,172人	1,000人	1,086人	1,048人	966人
幸せ実感指標	子育てに喜びや生きがいを感じている市民の割合	↑	89.2% (H27)	95.0%	89.2%	91.6%	90.4%

具体的な施策の取組状況

施 策 1 結婚支援
 <具体的施策の展開>
 ・出会いや結婚を支援するなど、結婚しやすい環境づくりを進めます。

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- 結婚新生活支援助成制度を創設し、若い新婚世帯の結婚新生活を支援(助成件数:32件)
- 若者同士の出会いの場づくりを支援するため、婚活イベントなどの情報をホームページに掲載

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
20～29歳男女の未婚率	↓	男性： 83.8% 女性： 78.7% (H22)	男性： 83.0% 女性： 78.0% (H32)	-	-	-

【今後の課題及び方向性】

- <具体的施策の展開①>
 - 制度の周知
 - ➡結婚式場相談窓口におけるPRや不動産関係事業者との連携による幅広い周知の実施
- <具体的施策の展開②>
 - 情報提供の充実
 - ➡地域での婚活イベント情報の提供やひょうご出会いサポートセンターとのリンクなど、WEBを活用した情報の発信

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>出産支援</p> <p><具体的施策の展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時に保健師等が面談を行うなど、妊娠期から子育て期にわたる継続的な支援を充実させることで、妊娠及び出産後の母子の不安を解消し、心身の健康を寄り添いながら支援します。
-------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- 母子健康手帳・妊婦健康診査申請時、保健師が面接を実施し、不安や心配に寄り添い、必要な方に支援を継続(母子健康手帳交付:1,003件、妊婦健診費助成申請数:1,085件)
- 計画的な子育て意識の醸成のため、きんたくんエンゼル積立支援を実施(申請件数:621件)
- 子育てに関する情報提供や養育環境の把握のため、こんにちは赤ちゃん訪問を実施(訪問件数:913件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している親の割合	↗	74.0%	86.6%	78.0%	86.1%	81.1%
妊娠健康診査助成者数	→	1,248人	1,100人	1,182人	1,155人	1,092人

【今後の課題及び方向性】

- 妊娠及び出産後の母子の不安や心配に寄り添う必要な支援の安定的・継続的な実施
 - ➡妊婦健康診査費助成事業の拡充
 - ➡制度の周知による申請率、訪問率の向上

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>子ども・子育て支援</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①子育て用品購入助成制度の創設や小学3年生までの通院医療費の無料化などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。</p> <p>②病後児保育を実施し、保護者の仕事と子育ての両立を支援するなど、就学前教育、保育環境の充実を図ります。あわせて、病児保育の実施を検討します。</p> <p>③子育てに係る情報提供や子育て家庭の状況に応じた支援サービスを提供するなど、子育てしやすい環境の整備を図ります。</p>
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、通院医療費は小学3年生まで、入院費は中学3年生まで無料を実施

○未就学児の所得制限を撤廃し、小学4年生から中学3年生までの通院医療費の自己負担割合を2割負担から1割負担に拡充

○年収約360万円未満の多子世帯。ひとり親世帯等の保育料軽減拡充

<具体的施策の展開②>

○施設周知のため、病後児保育施設おひさまルームのPRをかわにし子育てフェスティバルにて実施し、多くの登録者を確保(登録者:131人、利用者:126人)

○保育施設の増改築や、小規模保育施設整備などにより、就学前教育・保育の提供体制を充実(保育定員増77人)

<具体的施策の展開③>

○川西市公園施設長寿命化計画に基づき、遊具の更新を実施(20公園で37基)

○子育て世代包括支援センターの実施事業及び体制の決定

○市内8か所で地域子育て支援拠点を開設し、親子交流の機会や子育て情報の提供等を実施(延来所者数58,366人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
「子育て支援が充実している」と思う市民の割合	↑	29.7%	39.0%	33.6%	28.0%	32.7%
保育所の入所待機児童数	↓	31人	0人	58人	32人	39人

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

- 妊娠を望む人や子育て世帯の経済的負担に対する的確なニーズ把握及び効果的施策の選択
 - ➡制度の安定的な継続や子育て施策全体の中での位置づけを勘案し、引き続き実施内容を検討

＜具体的施策の展開②＞

- 病児・病後児保育事業の安定した運営
 - ➡H30年4月からおひさまルームで開始した病児保育事業とH26年6月から実施している病後児保育事業のPRを行い、安定した運営を推進
- 増加する保育ニーズへの対応
 - ➡保育施設の新設などによる対応方を検討

＜具体的施策の展開③＞

- 子育てしやすい環境(施設)のさらなる充実
 - ➡地元のニーズを反映させた、幅広い世代が憩える公園の整備の推進
- 子育てしやすい環境(支援制度・体制)のさらなる充実
 - ➡切れ目のない子育て支援の実現に向け、子育て世代包括支援センターの開設及び関係機関との連携強化

具体的な施策の取組状況

施 策 4	<p>教育環境の充実</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きんたくん学びの道場」、「里山体験学習」、ICTを活用した授業の実施など、川西の特徴を活かした学習環境の整備を図り、学校教育の充実を進めます。
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- スクールソーシャルワーカーを配置し、各学校の不登校児童生徒や問題行動等の課題を抱える児童生徒に関する関係機関等からの情報収集や生活面での支援の実施(対象小中校13校、支援児童生徒38人、学校訪問187回、家庭訪問等56回、ケース会議等24回)
- 中学校給食の実施に向けて、全校一斉導入が可能なセンター方式による実施について検討
- 市内全小学校4年生が、黒川地区において里山体験学習を実施(参加者数:1,323人)
- 里山について教員の理解を深めるための研修を現地で実施
- 乳幼児とふれあいや保護者の体験談などを聞くことで、命の大切さなどを実感させる取組みの実施(参加児童生徒数:2,634人、参加赤ちゃん先生:277組)
- 家庭学習の習慣化を図るため、全小学校に学習支援員を配置し、「きんたくん学びの道場」を実施(参加者数:延べ531人)
- 子どもの人権オンブズパーソン事務局において、子どもをめぐる人権問題に対する相談・調査及び広報啓発を実施(年間相談・調整回数:572回、意見表明:1回)
- 平成25年度から、全小中学校に配置された学校司書と教員が連携し、学校図書館を学校教育活動全体を通じて活用
- 校務支援システムの活用を推進するために、教職員研修を実施(市内全24校で実施。受講者数:約600人)
- 市立小中学校及び幼稚園等の空調設備について、PFI手法により整備

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合	↑	小学生： 84.0% 中学生： 80.0% (H25)	小学生： 87.0% 中学生： 85.0%	小学生： 85.0% 中学生： 85.0%	-	小学生： 85.0% 中学生： 82.0%
満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合	↑	74.8% (H27)	80.0%	74.8%	58.0%	52.5%

【今後の課題及び方向性】

○本市の特色を生かした授業の実施や相談体制の構築による学校教育の環境の充実

- ➡スクールソーシャルワーカーを全中学校区に配置
- ➡中学校給食の実施に向けた具体的な検討
- ➡特色ある里山体験学習の継続実施に向けた人材育成
- ➡赤ちゃん先生との継続的な交流を図るため、実施対象学年を、学校の実態に応じて市教委、NPO、学校で調整できるよう要項に位置付け

○学校教育の環境の充実

- ➡ALT(外国語指導助手)などの配置の拡充
- ➡学校図書館の整備の推進・充実
- ➡ICTを活用した授業実施に向けた検討
- ➡プログラミング教育の本格実施に向けて、教職員研修を実施
- ➡情報セキュリティを高めるために、LAN整備を実施(小学校・特別支援学校)

具体的な施策の取組状況

施 策 5	<p>女性が働きやすい環境づくり</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①子育て中の女性が、仕事と育児の両立ができる環境をつくるため、放課後のこどもの居場所の充実や病児・病後児保育の実施、家に居ながらでも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p> <p>②女性の生き方や働き方などを体系的に学ぶ機会を提供する(仮称)男女共同参画カレッジなど、女性の新たなライフスタイルの確立を支援します。</p>
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

- 女性の多様な働き方を支援するため、
 - ・クラウドソーシングサテライト講座(参加者数:13名)
 - ・オンライン座談会・コワーキングスペース(参加者数:14名)
 - ・ライティング中級講座(参加者数:8名)
 - ・オンラインサポート(参加者数:13名)

○ファミリーサポートセンター事業を川西市社会福祉協議会に委託し、実施(会員数:1,089人)

○親が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、留守家庭児童育成クラブで放課後の生活の場を提供

○市内3校において公立の留守家庭児童育成クラブの増設や、新たに民間留守家庭児童育成クラブへ補助を実施

○放課後子ども教室を全16小学校区で実施し、放課後の児童の居場所を提供

<具体的施策の展開②>

○女性の新たなライフスタイルの確立を支援するため、男女共同参画カレッジを開催(延べ参加者数:148人)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
女性の就業率	↑	38.7% (H27)	39.6% (H32)	38.7%	-	-
川西市役所における女性職員の割合	↑	36.6%	40.0%	37.9%	39.4%	40.5%

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

○女性への新しい働き方の機会の周知徹底
 ➡クラウドソーシングによる新しい働き方の周知拡大に向けて、広報等で周知

○仕事と育児の両立ができる環境の確保
 ➡ファミリーサポートセンター事業の積極的PRによる会員数の確保
 ➡公立留守家庭の受入可能人数の見直しを行い、待機児童を解消

<具体的施策の展開②>

○女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な支援
 ➡男女共同参画カレッジの開催による女性の新たなライフスタイルの確立に向けた継続的な取組みの実施

基本目標3 地域のきずなを深め多世代交流を促進する

<基本的方向性>

地域のきずなを深め、多世代交流を促進し、人口が減少する中でも、安定した活気ある地域づくりを展開します。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント

- 川西市が持つ地域力を活かして、高齢者や子育て世帯などへの支援を充実させる必要がある。また、災害時でも孤立することなく、支え合う地域づくりが大切である。
- 川西市のいくつかの大規模団地では、まちづくりが活発に行われている。学生が積極的に地域に入り、住民とともにまちづくりを進めていたり、要介護者支援制度の運用などでもよいアイデアが出されている。大規模団地を対象としたまちづくり支援の充実は、川西市の特徴になりうる。

数値目標

指標		方向性	現状値	目標値	実績値		
			(H26)	(H31)	H27	H28	H29
数値目標	自治会やコミュニティの活動に参加している市民の割合	↑	38.0%	41.0%	39.2%	37.1%	35.7%
	ボランティアやNPOなどの活動に参加している市民の割合	↑	13.6%	23.0%	12.1%	10.5%	10.7%
	自分が健康だと思っている65歳以上の市民の割合	↑	72.4% (H27)	83.0%	72.4%	68.0%	70.5%
幸せ実感指標	地域の人と交流することで充実感を感じる市民の割合	↑	52.3% (H27)	57.0%	52.3%	57.0%	56.2%

具体的な施策の取組状況

施 策 1	<p>健幸づくりの推進</p> <p>＜具体的施策の展開＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健幸マイレージ制度の充実など、老若男女問わず、日頃から自身の健康を意識しつつ、幸せを実感できる健幸まちづくりに向けた取組みを展開します。
-------	---

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- 健幸マイレージの参加者を新規に700人募集し、平成27・28年度の継続者含め約2,100人で実施
- Let'sきんたくん健幸体操を総合体育館及び市民体育館で実施(参加者数:22回964人)
- きんたくん健幸体操の普及啓発の推進に向けて、きんたくん健幸体操リーダーを地域等へ派遣(派遣回数:20回)
- 公園での健康遊具の設置(6公園)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合	↑	70.4%	73.8%	71.4%	69.9%	67.6%

【今後の課題及び方向性】

- 健幸まちづくりを進めるため、市民一人ひとりの健康意識に対する高揚啓発
 - ➡健幸マイレージを持続可能な制度としていくために、新潟県見附市、千葉県白子町と広域連携し、特別目的事業体と成果報酬型の契約をかわすことで、民間のノウハウを取り入れ事業を実施
 - ➡引き続き地元のニーズに対応して、公園で健康遊具を設置

具体的な施策の取組状況

自主的な地域づくり
 施策 2 <具体的施策の展開>
 ・地域分権制度に基づくまちづくりを進め、コミュニティを中心とした地域づくり活動を積極的に支援します。

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- 14のコミュニティ組織に対して、自主的・主体的に取り組まれる地域活動に対する支援として、地域づくり一括交付金を交付
- コミュニティ組織が地域の大きな課題の解決にチャレンジする先駆的な事業に対し一括交付金を加算(交付金加算件数:9件)
- 地域課題解決をサポートするため、地域担当職員・地域づくりアドバイザーによる支援を実施(支援実績:10地域、133件)
- コミュニティ組織が活動の拠点としている施設の維持管理や修繕等に対する支援を実施(支援件数:5件)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
地域分権制度適用地域の主要な団体数	↑	249団体	379団体	260団体	342団体	376団体
自治会やコミュニティ、ボランティアやNPOの地域づくり活動によって、お互いに支え合っていると思う市民の割合	↑	52.9%	60.0%	51.3%	48.4%	46.2%

【今後の課題及び方向性】

- 地域づくり活動の積極的支援のため地域の担い手不足の解消や自立的な事業展開に向けた対応
 →各地域の課題に応じて、必要な支援をしっかりと見極め、地域の特性を生かせるよう柔軟な支援を実施

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>つながり支え合うまちづくり</p> <p><具体的施策の展開></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における障がい者(児)や高齢者などの居場所づくりの支援を進めるとともに、地域団体などの自主的な地域福祉活動や見守り体制の充実を図ります。
-------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

- ハピネス川西相談支援事業所を含め市内3か所の相談支援事業所において、障がい者(児)やその家族などからの相談に応じ、さまざまな情報提供や福祉サービスの利用を支援。
- 高齢者の居場所づくりを促進するため、認知症カフェの設置に対する助成の実施
- 認知症サポーター養成講座の実施及び支援(新規サポーター数:2,653人)
- 川西市認知症高齢者みまもり登録をしている人(34人)のうち希望者に対して靴用ステッカーを配布(配布人数:19人)
- 「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」について新たな事業者と協定締結(新規8事業者)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができていく」と思う市民の割合	↑	28.5% (H29)	33.1%	29.7%	34.2%	28.5%
認知症カフェの数	↑	1箇所	8箇所	8箇所	9箇所	10箇所
認知症サポーターの人数	↑	11,389人	26,860人	14,366人	17,860人	20,513人

【今後の課題及び方向性】

- 障がい者(児)の地域生活を総合的に支援する体制のさらなる充実
 - ➡地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターの設置検討について、「川西市障がい者プラン2023」に位置づけ
- 潜在的な認知症患者の早期発見
 - ➡認知症支援推進員が認知症カフェ利用者等に対して「兵庫県版認知症チェックシート」を活用し、適切なフォローを実施
- 地域における見守り体制の充実
 - ➡「川西市見守り協力事業者ネットワーク事業」についての周知・協定先事業者の拡充

基本目標4	新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす
-------	---------------------

＜基本的方向性＞

本市の特徴を踏まえた新たな働き方の創出を模索するとともに、新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざします。

あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議

コメント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ まちの活性化に向けては、中小企業に対する人材確保の支援が必要である。 ➤ 市内における求人数の増加は、本市出身の若者が就職時に地元へ戻ってくることにつながる。
------	--

数値目標

指標	方向性	現状値	目標値	実績値			
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29	
数値目標	市内事業所数	↗	4,171事業所	4,200事業所	-	-	-
	市内就業率	↗	47.4% (H22)	50.0% (H32)	47.4%	-	-
幸せ実感指標	仕事に充実感がある市民の割合	↗	79.7% (H27)	85.0%	-	84.0%	80.4%

具体的な施策の取組状況

施策 1	就労支援の充実
	<具体的施策の展開> ①若者キャリアサポートセンター川西における就職支援セミナーの活用を促進し、若年層の就労支援の充実を図ります。 ②家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

- 川西しごと・サポートセンター内に就労体験コーディネーター(キャリア・コンサルタント)1名を配置
- ハローワークとの連携により市内外(基本的には近隣)の求人情報の提供を受け、受入事業所を開拓(実績:35事業所)
- 市内在住の39歳以下の未就職者を対象に、受入事業所での就労体験を経て、就労に結び付ける事業の実施(体験参加人数:22人、内定者:19人)

<具体的施策の展開②>

- 多様な形での就労を支援するため、
 - ・クラウドソーシングサテライト講座(参加者数:13名)
 - ・オンライン座談会・コワーキングスペース(参加者数:14名)
 - ・ライティング中級講座(参加者数:8名)
 - ・オンラインサポート(参加者数:13名)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
川西しごと・サポートセンターの年間就職件数	↑	1,003件	1,050件	1,003件	958件	1,004件

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

- 就労支援の成果拡大に向けた制度利用者の確保
 - ➡広報等による制度の周知の徹底

<具体的施策の展開②>

- 新しい働き方の機会の周知徹底
 - ➡クラウドソーシングによる新しい働き方を広報等で周知拡大

具体的な施策の取組状況

施 策 2	<p>新たな仕事と雇用の創出</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①新たな仕事と雇用を創出する事業に対し、提案公募型地域経済活性化事業補助や新商品開発補助を行い、事業主を支援します。</p> <p>②新たな交通の玄関口となる新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジを活用し、新たな仕事と雇用の創出を図ります。</p> <p>③家に居ながらも仕事ができるテレワークのマッチング事業を展開します。</p> <p>④女性・シニア世代の起業への支援を行います。</p>
-------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○事業者の新たなチャレンジの後押しによる産業の活性化に向けた検討

<具体的施策の展開②>

○魅力発信拠点の整備に向け、土地所有者や民間事業者と調整

<具体的施策の展開③>

- 多様な形での就労を支援するため、
 - ・クラウドソーシングサテライト講座(参加者数:13名)
 - ・オンライン座談会・コワーキングスペース(参加者数:14名)
 - ・ライティング中級講座(参加者数:8名)
 - ・オンラインサポート(参加者数:13名)

<具体的施策の展開④>

- 女性の起業しやすい、働きやすい環境を創出するため、川西女性起業塾を実施
 - ・プレセミナー(1回)
 - ・ベーシックセミナー(年8回(3時間/1回)、16名参加)
 - ・ステップアップセミナー(年3回(2時間/1回)、21名参加)
 - ・女性起業塾1期生との交流会の実施(年1回、17名参加)
 - ・創業関連情報の発信

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
有効求人倍率 (↑) ※伊丹ハローワーク管内 (伊丹市・猪名川町・川西市)	↑	0.65倍	0.70倍	0.59倍	0.73倍	0.78倍
女性の就業率	↑	38.7% (H27)	39.6% (H32)	38.7%	-	-

【今後の課題及び方向性】

＜具体的施策の展開①＞

○制度活用拡大

→市の広報や商工会等による制度の周知の徹底

＜具体的施策の展開②＞

○まちの賑わいの創出につながる土地利用に向けた調整

→所有者の意向や開発条件等を踏まえ、最適な土地利用の検討

＜具体的施策の展開③＞

○新しい働き方の機会の周知徹底

→クラウドソーシングによる新しい働き方を広報等で周知拡大

＜具体的施策の展開④＞

○起業支援に係る多様なニーズへのきめ細やかな対応

→川西女性起業塾について、様々な段階の方に興味を持っていただけるようニーズに合わせたセミナーの開催を増加することにより、起業までの総合的な支援を展開

具体的な施策の取組状況

施 策 3	<p>産業の活性化</p> <p><具体的施策の展開></p> <p>①商工会との連携を強化し、産業構造の特性を踏まえた新たな展開など産業の活性化に向けた取組みを進めます。</p> <p>②都市農業という本市の特徴を活かし、地産地消による販路の拡大などの取組みを進めます。</p>
-------	--

【平成29年度の主な取組内容及び成果】

<具体的施策の展開①>

○市が産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受け、市や商工会等を通じて創業支援の提供を実施(実績:相談13回、セミナー参加47名)

<具体的施策の展開②>

- 川西産の農林産物の魅力のPRや販路の拡大等を目的に、
- ・特産物の即売会や品評会の開催(ハウス果菜品評会、桃の即売会、いちじくの品評即売会、農林産物品評即売会)
 - ・「かわにしまるまるマルシェ」の開催(年3回)

KPI	方向性	現状値	目標値	実績値		
		(H26)	(H31)	H27	H28	H29
小売業店舗数	→	864店舗 (H26)	868店舗	-	-	-

【今後の課題及び方向性】

<具体的施策の展開①>

- 商工会等との連携の強化
- ➡商工会等を通じて実施している各施策の継続
 - ➡特産品及び各種イベント等の積極的な情報発信
 - ➡商工会等と連携した市の補助制度の活用促進

<具体的施策の展開②>

- 川西産の農林産物の魅力のPRや、販路の更なる拡大に向けた取組み
- ➡農林物産品評即売会、いちじくの品評即売会など各種イベントで川西産の野菜や果樹などを知ってもらう機会の提供
 - ➡マルシェ等のイベントで農業者と商業者の出会いの場の提供による販路の拡大
 - ➡マルシェ等のイベントで農業者が消費者に直売する場の提供による川西産農林産物への信頼の形成